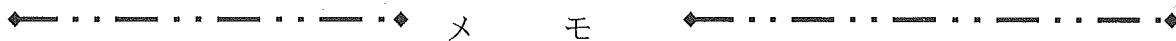


- 7) 駐車場：病院の駐車場は利用できません。車でお越しの際は、病院隣の青森県合同庁舎駐車場を利用してください（無料）。
- 8) 名札：研修者の名札をつける（研究グループ準備）



青森班担当者

青森県立保健大学健康科学部看護学科

研究代表者 中村 恵子

小山 敦代・吹田夕起子

出貝 裕子

\*

〒030-8505 青森市浜館字間瀬 58-1

青森県立保健大学健康科学部看護学科

電話 017-765-2000 (代表)

017-765-2058 (出貝)

FAX 017-765-2059

\*

2003年9月作成

高齢者ケアスキルアップ研修後のアンケート

氏名( )

研修者用

施設名( )

以下の質問に対して1～5の回答のうち最もあてはまる番号に○印をつけて下さい。

Q1. 研修の目的は、達成できましたか。

とてもそう思う 全くそう思わない  
5 4 3 2 1

その番号に○をつけた理由をご記入下さい。

( )

Q2. 研修は、今後のあなたの実践に役立つと思いますか。

とてもそう思う 全くそう思わない  
5 4 3 2 1

その番号に○をつけた理由をご記入下さい。

( )

Q3. 全般的に研修に関して気づいたことを、感想、意見などあれば、ご自由にお書き下さい。

( )

ありがとうございました。

高齢者ケアスキルアップ研修後のアンケート

氏名( )

指導者用

施設名( )

以下の質問に対して1～5の回答のうち最もあてはまる番号に○印をつけて下さい。

Q1. 研修者は、研修の目的を、達成できましたと思いますか。

とてもそう思う

全くそう思わない

5

4

3

2

1

その番号に○をつけた理由をご記入下さい。

( )

Q2. この研修は、あなたにとって何か役立つことがありましたか。

とてもそう思う

全くそう思わない

5

4

3

2

1

その番号に○をつけた理由をご記入下さい。

( )

Q3. 研修を担当して、良かったこと、困ったこと、気づいたこと、感想、意見などあれば、自由にお書き下さい。

( )

ありがとうございました。

高齢者ケアスキルアップ研修 2ヵ月後の調査

研修者用

お名前( )

研修を終えてからのことを振り返り、以下の質問に対して最もあなたの考えにあてはまる番号を○印で囲んでください。また、下の欄にご意見をご記入ください。

Q1 スキルアップ研修後、研修で得たことを職場の方に伝えましたか？

1. はい

2. いいえ

「1. はい」と応えた方は、どのような機会や方法で内容を伝えたか、また、どのような内容について伝えたかについて、「2. いいえ」とお応えの方はその理由をご記入ください。

( )

Q2 この研修後、あなたの業務実践に変化はありましたか？

1. はい

2. いいえ

「1. はい」とお応えの方は、どのような点が変わったかできるだけ詳細にお書きください。「2. いいえ」とお応えの方はその理由をお書きください。

( )

Q3 今回のような病院／施設研修は、今後も有効だと思いますか？

1. はい

2. いいえ

( )

裏面もご記入をお願いします。

Q4 振り返ってみて、研修の研修目標は達成できたと思いますか？

1. はい

2. いいえ

その理由をお書きください。



Q5 この研修に関して気づいたこと、感想、意見などあれば、自由にお書き下さい。



ご協力ありがとうございました。

高齢者ケアスキルアップ研修 2カ月後の調査

管理者用

施設名( )

貴施設のスタッフが今回の研修を終えてからのことを振り返り、以下の質問について最もあなたの考えにあてはまる番号を○印で囲んでください。  
また、下の欄にご意見をお願いします。

Q1 あなたご自身の職種、職位についてお教えてください。

職種( ) 職位( )

Q2 あなたは、このスキルアップ研修にどのようなことを期待してスタッフを研修に出しましたか？

( )

Q3 スタッフが研修から戻ってからの様子から、期待した研修の成果はあったと思いますか？

1. あった      2. なかった

「1. あった」とお答えの方は、どのような成果があったかについて、  
「2. なかった」とお答えの方はその理由をお書きください。

( )

Q4 今回のような看護職の病院／施設研修は、有効だと思いますか？

1. はい      2. いいえ

( )

裏面もご記入をお願いします。

Q5 この研修に関して気づいたこと、感想、意見などあれば、自由にお書き下さい。



ご協力ありがとうございました。



# 高齢者ケアスキルアップ実地研修 フォローアップ研修要項

## はじめに

昨年、私共は、高齢者ケアの質向上を目指し、厚生労働科学研究費補助金の助成を受けて高齢者ケアの中心的役割を担う介護保険施設看護職のケア実践力の向上を目的とした3日間の「高齢者ケアスキルアップ実地研修」を全国3都県において開催いたしました。

介護保険施設看護職は、限られた定員数の中、日々の業務に加え後輩や他職種の教育・指導など、研修で習得した技術や知識の普及・実践に奔走されているかと存じます。しかし、介護保険施設看護職を対象とした研修の機会が少なく、施設を越えた交流・情報交換の機会は非常に限られたものであり、他施設の先駆的活動や創意工夫などの見聞は難しい状況にあります。

そこで、今回、「高齢者ケアスキルアップ実地研修」修了後の自己の業務活動を振り返りともに、研修者相互の交流を目的としたフォローアップ研修を開催することになりました。

## ねらい

高齢者ケアスキルアップ実地研修修了後の1年間の業務活動を振り返り、今後の自己の課題を明らかにする。

## 研修目標

1. 研修修了後の1年間の業務活動・取り組みを振り返る。
2. 業務活動を困難にしているもの（障壁）は何かを明らかにする。
3. 研修者の情報交換を図る。
4. 研修者のネットワーク構築をする。

## 参加対象

1. 高齢者ケアスキルアップ研修 研修者
2. 高齢者ケアスキルアップ研修 研修施設の看護管理者・プリセプター 各施設から2名

## 研修内容

1. 研修終了後の1年間の業務活動の振り返り
2. 研修者の及び研修施設側との情報交換
3. ネットワークの構築の必要性和方法について意見交換

## 研修期日および開催場所

1. 期日 平成16年11月13日（土）13時00分～16時30分
2. 場所 青森県立保健大学 教育研究A棟 学科研究室（4F）  
青森市浜館間瀬58-1（最終頁参照）

## その他

1. 同封の「フォローアップ研修事前アンケート」を10月30日までにご返信下さい。

\*フォローアップ研修のご意見・アンケート調査を、厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）のデータとして用いることにご了解頂きますようお願いいたします。  
尚、ご発言やアンケートは個人や施設が特定されないよう配慮いたします。

<アンケート宛名>〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

青森県立保健大学健康科学部看護学科

坂本 祐子 TEL: 017-765-2058 FAX: 017-765-2059

## 主催者

厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）

「介護保険施設看護職の教育・研修プログラムの普及拡大

並びに看護管理者育成・支援モデルの開発」

研究代表者 中村 恵子（青森県立保健大学）

## 所在地案内

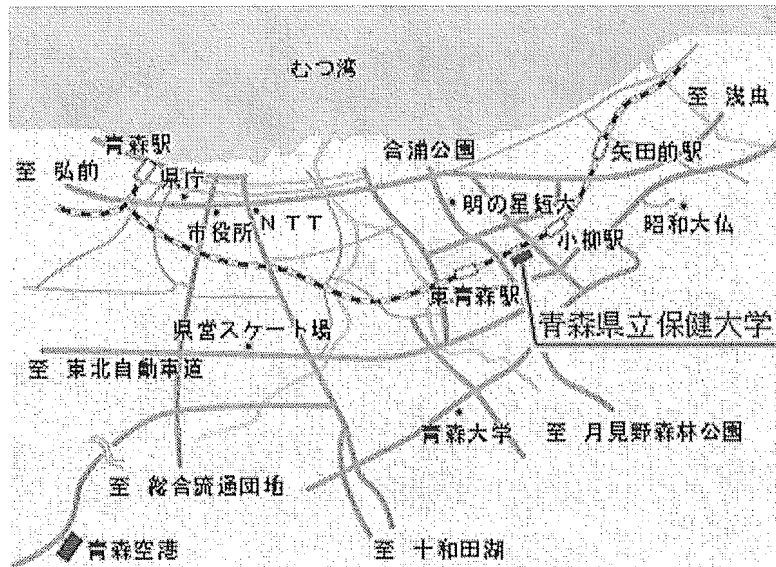
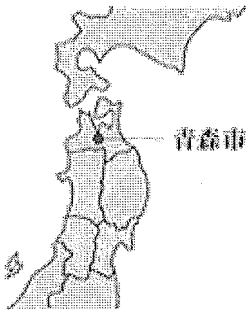
### ■青森市内

◎青森駅から約7 km

- ・青森市営バス（戸山団地・沢山線）  
県立保健大学前バス停まで…約20分（バス停から徒歩約1分）
- ・車（タクシー）で…約15分

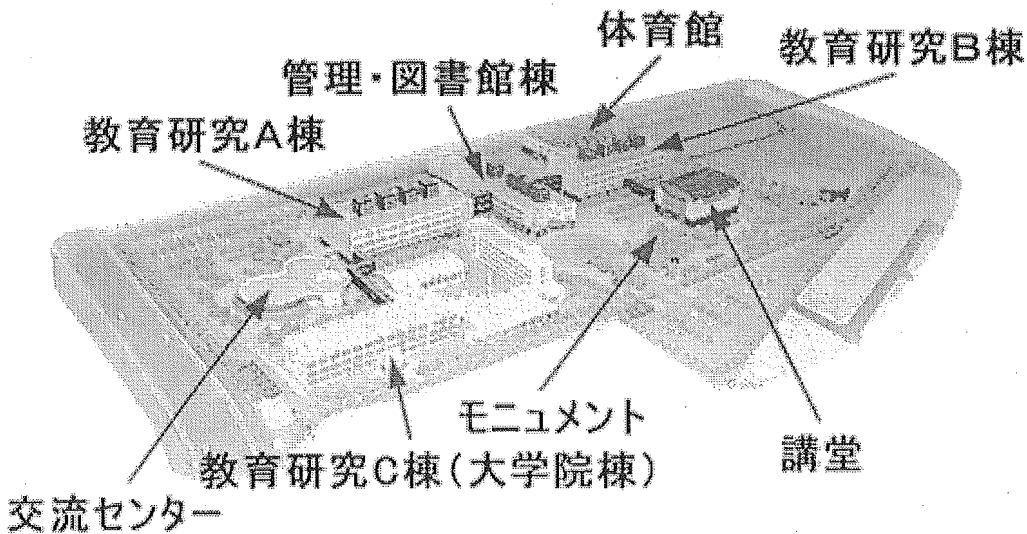
◎JR東青森駅から徒歩で…約10分（約1 km）

◎JR小柳駅から徒歩で…約10分（約1 km）



〒030-8505 青森市大字浜館字間瀬58-1 TEL 017-765-2000 (代表)

## 施設案内



## フォローアップ研修 事前アンケート

お名前 ( )

高齢者ケアスキルアップ実地研修修了後から現在までを振り返り、以下の質問に対してあなたの考えに最も当てはまる番号を○で囲んでください。また、具体例やその理由(原因)を記入下さい。

問1. 昨年の研修での学びを現在施設で活用(実践)していますか。

1. はい                      2. いいえ

[ ]

問2. 研修修了時に明らかになった自己課題について、何か取り組みを行っていますか。

1. はい                      2. いいえ

[ ]

問3. 研修修了から1年を経過して、研修は有効だったと思いますか。

1. はい                      2. いいえ

[ ]

裏面もご記入ください。

問 4. 研修修了後、研修生や研修施設看護師と連絡を取り合うことができましたか？

1. はい                      2. いいえ

「1. はい」答えた方にお聞きします。どのような目的ですか。

1. 個人的                      2. 業務関連

問 5. 介護保険施設看護職の情報交換の場やネットワークが必要だと思いますか。

1. はい                      2. いいえ



どのような方法が良いと思いますか。

何故そう思いますか。

問 6. 今年度は「高齢者ケアスキルアップ実地研修」を企画していませんが、今後このような企画を希望しますか。

1. はい                      2. いいえ

それは何故ですか。

ご協力ありがとうございました。ご記入もれがないかご確認ください。

## フォローアップ研修 事後アンケート

お名前 ( )

高齢者ケアスキルアップ研修修了1年後の「フォローアップ研修」を終え、以下の質問に対してあなたの考えに最も当てはまる番号を○で囲んでください。また、具体例やその理由(原因)をご記入下さい。

問1. フォローアップ研修は、あなたが期待する内容でしたか。

1. はい                      2. いいえ

( )

問2. この研修を修了し、1年間の業務活動の振り返りができましたか。

1. はい                      2. いいえ

( )

問3. 今後の自己の課題が明らかになりましたか。

1. はい                      2. いいえ

( )

裏面にお進みください。

問 4. 介護保険施設看護職の情報交換の場やネットワークの具体的な取り組みの方法が明らかになりましたか。

1. はい

2. いいえ

[ ]

問 5. 今後、フォローアップ研修の継続を希望しますか。

1. はい

2. いいえ

「はい」とお答えした方にお聞きします。

問 4-1-1. どのような方法が妥当だと思えますか。

(○はいくつでもかまいません。)

1. 講義形式
2. グループワーク
3. 施設実地研修
4. その他 ( )

問 4-1-2. 開催の間隔は

1. 半年に1回
2. 1年に1回
3. その他 ( )

問 4-1-3. 希望内容は

[ ]

問 4-1-3. それは何故ですか。

[ ]

「いいえ」とお答えした方にお聞きします。

問 4-2-1. それは何故ですか。

ご協力ありがとうございました。ご記入もれがないかご確認ください。

## 2. 高齢者ケア施設の看護管理者研修

1) 募集要項

2) 事前レポート

3) 研修要項

4) 1年後のアンケート



平成16年4月14日

## 高齢者ケア施設の 看護管理者研修会 の ご案内

厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）研究  
「介護保険施設看護職の教育・研修プログラムの普及拡大並びに  
看護管理者育成支援モデルの開発事業」グループ  
代表 中村恵子 青森県立保健大学

このたび厚生労働省科学研究補助金をえて、高齢者ケア施設における看護管理者を対象にした研修会を開催することになりました。

この研修は、高齢者ケア施設における看護管理者に求められているマネジメント能力、高齢者ケア提供システムを変革する推進力となる者としての能力の向上を目的に、長野・青森の2会場で開催されることになりました。研修では、みなさんの日頃のお仕事に役立てられる5つのテーマとグループワークを準備しています。それぞれのテーマを学習すると共に、出席された皆様と一緒に高齢者ケア施設における看護職者の役割・専門性について考えてみたいと思います。実りある研修とよい出逢いがかないますように、皆様のご参加をお待ちしております。

### 1 期日と会場

長野会場	平成16年7月16日（金）～ 17日（土）
	ウェルシティー-NAGANO : 長野県長野市七瀬中町 276-6 TEL : 026-227-3336
青森会場	平成16年8月27日（金）～ 28日（土）
	青森県教育会館 : 青森市橋本1-2-25 TEL : 017-777-3121

### 2 研修の目的・目標

目的：高齢者ケア施設における看護管理者に求められているマネジメント能力、高齢者ケア提供システムを変革する推進力となる者としての能力を育成する。

- 目標：1. 福祉施設における看護の役割と専門性を発揮するために、マネジメント能力の向上を図る。  
2. ケア提供システム変革推進者としてのリーダーシップ能力の向上を図る。  
3. 教育実践能力の向上を図る。



## \*研修スケジュール

予定	長野会場：7月16日(金) 青森会場：8月27日(金)	長野会場：7月17日(土) 青森会場：8月28日(土)
9:00 ～ 10:30	開講式 グループワーク① (奥野茂代 長野県看護大学他)	セッション6：組織変革と看護職者の リーダーシップ (永池京子 浦添総合病院)
10:40 ～ 12:10	セッション1：リスクマネジメント (中村恵子 青森県立保健大学)	セッション7：組織変革と看護職者の リーダーシップ (永池京子 浦添総合病院)
13:00 ～ 14:30	セッション2：高齢者ケア施設におけるジレンマと 意志決定 (Y・S リホウイツ 青森県立保健大学)	セッション8：職員教育 (矢部弘子 聖隷クリスティーア大学)
14:40 ～ 16:10	セッション3：高齢者ケア施設における看護管理 －リスクマネジメントと質の管理 (桃田寿津代 横浜総合病院)	セッション9：グループワーク④ (奥野茂代 長野県看護大学他)
16:20 ～ 17:50	セッション4：グループワーク② (奥野茂代 長野県看護大学他)	閉講式 *17:00 解散
18:30 ～ 20:30	セッション5：グループワーク③ (奥野茂代 長野県看護大学他)	

## \*研修概要 (敬称略)

### セッション1：目標 1.2. リスクマネジメント

リスクマネジメントの理念や原則を理解し、高齢者ケアの特徴をふまえたケア方法や実践からケアの質を保証するシステムづくりについて考えます。また、事故発生の予防と対応の実際について、自らの施設事例を検討し、リスクマネージャーとしての看護職者の役割を一緒に考えてみたいと思います。

講師プロフィール：中村恵子 (青森県立保健大学 教授)

大学教授と病院看護管理者を両立したユニフィケーション実践者としての長年の経験を活かし、高齢者の安全、リスクマネジメントについても県内外での講演やスーパーバイザーとして広くかかわっている。

### セッション2：目標 1.2. 高齢者ケア施設におけるジレンマと意志決定

倫理とは人間として尊重する基本的な姿勢であり、より良い看護を提供する為に考慮することだと思いません。日本でもアメリカでも其々の国において当然として行われていることが、お互いの意識にあがっていないこともあります。皆様は毎日遭遇されておられる倫理的課題とは何でしょうか。インフォームドコンセント、自己決定権、終末期ケア、生前指示、QOL等の基本的人権に関しアメリカでの看護実践経験を通して、日本の高齢者ケア施設における倫理的課題とアプローチについて皆様と考えてみたいと思います。

講師プロフィール：Y.S. ムウツ (青森県立保健大学 教授)

米国フィラデルフィア市における病院・施設の看護管理、及び在宅ケア経営に長年携ってきた。高齢社会、医療改革の中で途切れない継続ケアを今後システムとして構築していくことに関する研究、終末期ケアの研究等をテーマとして国際的な視点から教育・研究を行っている。

### セッション3：目標 1.2. 高齢者ケア施設における看護管理—コストマネジメントと質の管理

高齢者ケアサービスの質を考慮したコストマネジメントのあり方を理解し、実際の取り組み方について学ぶ。内容としては、高齢者ケア施設サービスの原理・原則、コストマネジメントとは何か(プロセスを含む)、高齢者ケア施設の質を作用する要因とコストマネジメントについて解説し、さらに高齢者ケアにおけるコストマネジメントの実際を皆さまと考えてみたいと思います。

講師プロフィール：桃田寿津代 (横浜総合病院 看護部長、介護老人保健施設 横浜シルバープラザ 看護部長)

長年、外科系を中心とし病院看護に携わったあと、神奈川県における第1号の老人保健施設の開設にパイオニアとして取り組んだ。現在、病院および介護老人保健施設の看護部長の要職を兼任しながら、神奈川県看護部長会会長、神奈川県看護協会監事をはじめ大学の講師として精力的に活動を行っている。

### セッション6、7：目標 1.2. 組織変革と看護職者のリーダシップ

より質が高く、効率的な看護サービスの提供を図るための組織変革や組織成長を推進する人の特性行動と、医療サービスを提供する現場における患者ケアの実践者と管理者の協働について解説します。看護や介護職員が生き生きとした職場環境づくりに必要なマネジメントを皆さまと一緒に考えてみたいと思います。

講師プロフィール：永池京子 (医療法人仁愛会 浦添総合病院 副院長・看護部長)

聖路加国際病院に看護師として約10年間勤務の後、米国の大学で看護学士、修士号(病院経営管理学、看護管理学)を取得。ケアキネメディカルセンターにおける健診センターのマネージャー等を経て1998年に帰国、その後は医療コンサルタントを歴任し2000年から現職。現職の副院長・看護部長の重責を果たしながら、看護サービスの質改善や人材育成をめざして看護管理者(エグゼクティブ) ナーシング・リーダシップの研究・教育活動を行っている。

### セッション8：目標 3. 職員教育

介護施設における職員教育は、職員構成、資格や教育歴、年齢、価値観の多様さのために、体系的な教育を企画・実施しにくいことが特徴としてあげられます。職員個々の学習意欲を継続し、どのような学習スタイルを支える体制を作ればよいかなど、これまでの介護老人保健施設における体験をとおして、紹介します。

講師プロフィール：矢部弘子 (聖隷クリストファー 教授)

東京都老人医療センターに6年間勤務後、看護系の短大・大学で老年看護学の教育に関わる。その後、介護福祉老人保健施設で教育企画担当を経、平成14年度より聖隷クリストファー大学社会福祉学部勤務する。

セッション4.5.9 (グループワーク①②③④)：目標 1.2.3. グループワークは、3つの目標に関する参加者自身の課題についてメンバーと語り合い、対策を検討することで自分の今後のすすむべきあり方や展望について確認する。セッション5 (グループワーク③) は、懇親会を兼ねて行います。

講師プロフィール：奥野茂代 (長野県看護大学 教授)

ファシリテーター・メンバー：千葉真弓、太田規子、曾根千賀子、村松由紀 (長野県看護大学)  
中村恵子、小山敦代、吹田夕起子 (青森県立保健大学)  
勝野とわ子、横井郁子 (東京都立保健科学大学) 他

4 研修講座 全課程修了者には、修了証を差し上げます。

5 参加費用 研修費は無料

ただし、宿泊・食事代（一泊3食）など実費

・長野会場：宿泊・食事代（一泊3食込み） 約13,000円  
（振り込み用紙は、参加決定者にお送りします）  
宿泊は、一部屋5～6名の和室となります。

・青森会場：食事代 約6,000円（8/27昼食、夕食、8/28昼食）、  
（振り込み用紙は、参加決定者にお送りします）

青森会場の参加者は、参加の決定後に宿泊は各自でお申込み・お支払いいただくことになります。

6 申込み期日・方法 平成16年5月14日(金)

※同封のFAX送信票を用いて下記へ申し込んでください。

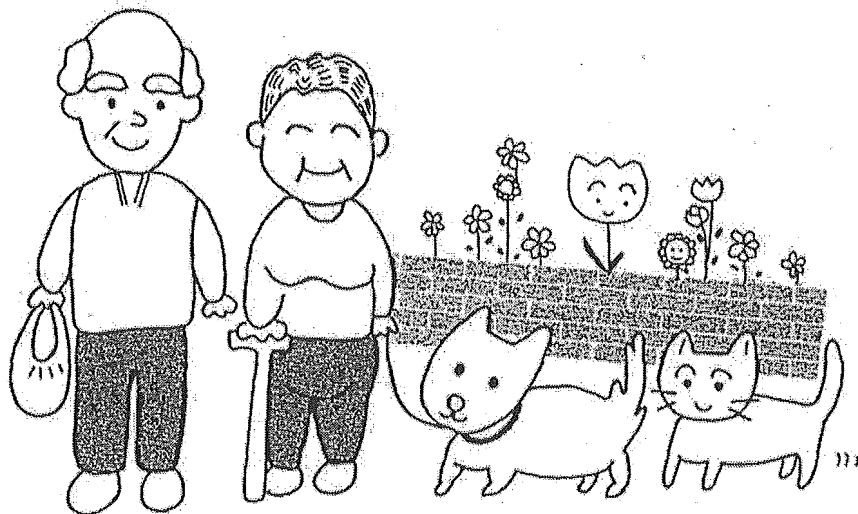
FAX:0265-81-5175 長野県看護大学老年看護学 千葉真弓研究室

7 定員 高齢者ケア施設に勤務する看護管理者、リーダー的な立場に就いている者か、または将来リーダー的な立場に就く予定の者 80名（但し、長野会場40名、青森会場40名）

8 参加の決定 応募者多数の場合、先着順にさせていただきます。

5月下旬に、参加の可否について連絡させていただきます。参加が認められた場合、事前レポートならびにアンケートへ協力していただきます。

提出資料に関しては、個人のプライバシーを守り本研究以外に使用しないことを申し添えます。



誘いあって出かけましょう！